

戦略2 産業 ~地域の元気と働きがいを生む産業の創出~

特産品などの販路拡大や農業者の所得向上、創業や企業の立地・設備投資を促進します。
また、職場環境の向上や、若者や障害のある人などの就労支援に取り組み、市民が生きがいを持って働けるまちづくりを進めます。

【主な事業】

- 中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業 (115万円)
棚田米の高付加価値化による販売戦略構築に向けた研修会を開催します。また、中山間地域ならではの付加価値のある農産物や農産加工品の販売・営業活動などの取り組みを支援します。
- 市内企業雇用促進事業 (1,784万円)
高校生や市外へ進学した大学生などを対象とした市内企業の見学会や説明会のほか、上越地域からの進学者が多い大学と市内企業との情報交換会を開催します。

戦略3 交流 ~交流圏の拡大をいかした豊かさの向上~

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿を多くの市民の皆さんと共有しながら、一体感を持って、交流人口の拡大に取り組みます。

また、来館者が120万人を超えた「うみがたり」を核に、直江津のまちの賑わいの創出を図ります。
さらに、新潟県立武道館「謙信公武道館」および上越体操場「ジムリーナ」の開館を好機として、スポーツコンベンションの誘致を進めます。

【主な事業】

- 観光地域づくり実践事業 (205万円)
観光に意欲的に取り組む人が知識や技術を習得し、また、横のつながりを築く場として「観光地域づくり実践未来塾」を開講します。
- インバウンド推進事業補助金 (150万円)
多言語翻訳機の購入費を新たに補助対象とし、市内事業者が実施する外国人旅行者に対する受入体制の整備を支援します。
- 「地域の宝」認定制度 (2万円)
有形・無形、文化財の指定の有無にかかわらず、地域社会の中で大切に守り伝えられ、人々がよりどころとする文化財を「地域の宝」と定義した上で、「地域の宝」とそれを保存・活用する取り組みを総体として認定する制度を創設し、次世代への継承と魅力ある地域づくりの一助とします。
- コンベンション開催補助金 (573万円)
スポーツ合宿の宿泊費を補助し、市内での観光や地域住民との交流を促進します。
- 全国高等学校総合体育大会の開催準備 (312万円)
令和3年度に開催する全国高等学校総合体育大会における体操競技および弓道の開催準備に取り組みます。
- 第72回全国人権・同和教育研究大会 (207万円)
今年10月に当市を中心に県内で初めて開催される「第72回全国人権・同和教育研究大会」で人権・同和教育問題への正しい理解と認識を深める機会を提供するとともに、人権意識の向上を図ります。



戦略1 暮らし ~暮らしの安心感を高める“つながり”の構築~

市民の暮らしの安心感を高めるため、地域での支え合いや担い手の育成に向けた「つながり」を育むまちづくりを進めるとともに、「こども」「高齢者」「中山間地域」の視点から「つながりの力」を育みます。

【主な事業】

- ◆福祉の相談窓口の強化
上越市版地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの業務に、障害のある人や生活困窮者などの相談対応を加え、さらなる機能強化を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。
○地域包括支援センター運営事業 (2億6,837万円)
○障害者の相談支援事業 (3,446万円)
○生活困窮者自立支援事業 (3,526万円)
- ◆外国人市民が安心して暮らせる環境の整備
増加傾向にある外国人市民が安心して暮らせる環境を整備します。
○多文化共生推進事業 (1,129万円)
・上越市国際交流センターの相談窓口の開設時間を拡充するとともに、72言語に対応する自動翻訳機を導入し、相談機能を強化します。
・「やさしい日本語 (簡単で外国人にわかりやすいように配慮した日本語)」講座を新たに開催します。
○医療通訳ボランティア事業 (32万円)
医療通訳ボランティアのスキルアップや育成に向けた講座を開催し、外国人患者の受入体制を整備します。
○外国人・帰国児童生徒への日本語支援事業 (793万円)
日本語と教科指導の支援を行い、基礎的・基本的な知識の習得に向けた取り組みを強化します。
- ◆新たな環境課題への対策 (30万円)
食品ロスやレジ袋の有料化、海洋プラスチックごみなどの新たな課題への対応が急務となっていることから、積極的な情報発信と啓発活動を行い、市民・団体・企業の意識醸成を図り、地域ぐるみでの環境改善の取り組みを促します。
- ◆こどものすこやかな育ちの支援
○子どもの虐待予防推進事業 (1,385万円)
年々増加する児童虐待事案に対応するため、市内の大学と協働で作成する子ども向け虐待防止リーフレットを児童生徒に配付し、虐待の発生予防や早期発見につなげていくほか、家庭相談員を増員し相談支援体制を強化します。
- ◆有害鳥獣対策の強化
農作物などの鳥獣被害が深刻な現状を踏まえ、被害防除と捕獲の両面で総合的な被害防止対策を進めるとともに、住宅地周辺でもクマやイノシシの出没が増加していることから、人身被害の防止を図ります。
○農作物鳥獣被害防止対策事業 (733万円)
新たに鳥獣被害対策実施隊を組織し、集落などの要請に即応できる捕獲体制を整えます。
○大型野生鳥獣の出没対策 (658万円)
クマやイノシシによる人身被害を防止するため、注意喚起と出没抑制対策、捕獲体制の強化を図ります。



その他の取り組み

- 戦争体験伝承事業 (114万円)
戦争の悲惨さと平和の尊さを将来にわたって次の世代に伝えるため、後継者の育成や戦争関連資料の保存・活用について、専門家などによる検討委員会を設け検討します。
- 休日歯科診療センター運営事業負担金 (3935万円)
老朽化が進む休日歯科診療センターを上越保健センター内に移転・整備するとともに、新たに取組む障害者歯科診療の関連経費を負担し、休日等における歯科診療体制の確保、充実に努めます。
- 森林環境税関連対策事業 (99万円)
森林経営管理法に基づく取り組みとして、未整備森林の所有者に対して経営管理の意向調査に着手します。
- ◆少雪による農業への影響に対する対応
今冬の記録的な少雪により、水稲の春作業に必要な農業用水の確保と、水稲の作付けが困難な圃場での作物の転換を支援します。
- 緊急簡易貯留施設整備・ため池維持修繕事業 (3月補正 2700万円)
- かん水用機械等整備対策事業 (少雪緊急対策分 366万円)
ポンプやホースなどの整備費用を支援します。
- 中山間地域振興作物生産拡大事業 (少雪緊急対策分 110万円)
水稲の作付けが困難な場合に、少ない水でも栽培が可能な作物への転換を支援します。
- ◆自然災害に備えた、防災減災の取り組み
大雨により市内各所で河川の氾濫や道路の崩落などの自然災害が発生していることを踏まえ、道路の補強や河川の改修等を行い、災害対策を強化します。
- 市道、林道の改良 (6400万円)
市道青柳日の八線(清里区)、林道難波線(金谷区)の改良を行います。
- 河川の改修・しゅんせつ等 (3月補正を含む 2億8980万円)
道田川(有田区)、水戸の川(高田区)、前川(金谷区)、江象川(三和区)などの改修やしゅんせつ等を行います。
- 排水ポンプ車の導入 (3月補正 5720万円)
河川の水位上昇に伴い発生する浸水被害の拡大を防止するため、排水ポンプ車を導入し、市内各所での排水作業に活用します。